

# 和田勇氏二女(米)14年ぶり来坊

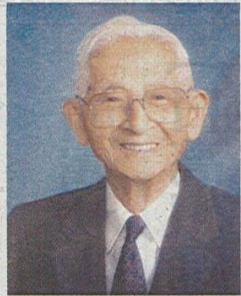
## 11月の顕彰イベント出席、歓迎会も

御坊市

御坊市名誉市民第1号で東京にオリンピック(1964年)を呼んだ男として有名な故・和田勇氏の二女、メアリー・マリコ・ロースさん(77)＝アメリカ・サンフランシスコ在住＝が、市と和田勇顕彰会が11月17日に開く顕彰イベント「和田勇を考える(仮称)」にあわせて来坊することが決まった。マリコさんは平成16年に行った名誉市民授与式に出席しており、御坊市を訪れるのは14年ぶり。顕彰イベントに出席するほか、歓迎会や和田勇コーナーのある御坊寺内町会館見学などを予定している。



平成16年4月に柏木市長を表敬した長女の故・ミヤコさん、二女のマリコさん(写真右から)



故・和田勇氏

市は平成16年の市政施行50周年記念事業で和田勇氏に名誉市民第1号の称号を贈った。同年4月に御坊ロータリークラブ創立50周年記念式典にあわせて名誉市民授与式を行い、マリコさんと、和田勇氏の長女で昨年死去した故・グレース・ミヤコ・宮本さん、アメリカ・ハワイの2人が来坊し、柏木征夫市長から表彰状と記念品が贈られ、ミヤコさんはパネルディスプレイ

カッションに参加して和田勇氏の人柄や思い出などを語った。  
2019年のNHK大河ドラマ「いだてん」に東京オリンピックを断る「和田勇氏」を取り上げてもらえるように市が昨年度、御坊商工会議所など各種団体と顕彰会を設立し、さまざまな顕彰事業やプロモーション活動を展開。顕彰会事務局長の岡本恒男さんが日ごろからマリコさんとメールで連絡を取りあっており、先日、これまでの活動報告書や新聞掲載記事、きのくに信用金庫御坊営業部や紀陽銀行御坊支店が製作したPRグッズなどを郵送した。受け取ったマリコさんから「父の顕彰事業すべてに感動しました。父は少し恥ずかしいかもしれませんが、あなたの市を誇りに思うでしょう」と喜びの声を寄せられるとともに、夫のフレントさんと一緒に11月の顕彰会イベントにあわせて来日し、14年ぶりに御坊市を訪れるとの連絡があっ

た。11月15日ごろに来日し、3〜4泊程度滞在する予定だという。

顕彰イベントは11月17日に市民文化会館で開き、市文化財保護審議会委員の大谷春雄さん、大谷呉服店が脚本、舞台演出する朗読劇、岡本事務局長や大谷さん、NPO法人わかやまスポーツ伝承館、和歌山市の代表者3人をパネリストにパネルディスカッションする。マリコさんはこれに出席し、和田勇氏の功績などを常設展示している御坊寺内町会館見学、歓迎会開催などを計画している。

顕彰会は今年度事業で御坊南海バス(株)の協力で路線バスの右側側面に和田勇氏のラッピングをほどこし「走る広告塔」としてPRに努めているほか、JR御坊駅に横断幕やPR看板を設置したり、PRグッズをつくりJR天王寺駅や高速道路SA等で啓発。日高高校生徒の協力で和田勇氏の紙芝居を制作して市内の幼稚園、保育園に配布する。